

八月：葉月(はづき)

<第231号>

# 事務局だより

令和4年8月10日発行

現在の会員数

合計 189名

(男性 128名)

(女性 61名)

## □ 互助会からのお知らせ！

昨年の互助会研修旅行は中止となりましたが、今年は「9月26日(月)」に実施する予定です。行先は、去年行く予定であった中泊町にある宮越家「離れ/庭園」そして「大正浪漫かほるステンドグラス」の視察になります。

なお、詳しい内容は9月の事務局だよりへ掲載しますので、内容をご確認いただき申込みされる場合は早めにお願いします。

## □ 自動車運転について！

以前にも報告しましたが、道路交通法が改正され令和4年4月より、安全運転管理者による自動車運転前後のアルコールチェックが「義務化」されました。

これにより、シルバー人材センターの公用車を運転する会員も例外ではありません。また、10月1日からはアルコール検知器を用いた確認が必要となり、目視で確認した後に検知器を使って再び酒気帯びの有無を確認することとなります。いずれも運転前後の2回検査になります。

よって、車両を運転する場合には職員が運転者の状態を目視と検知器により「酒気帯びの有無を確認」します。この酒気帯びの有無については記録を取つて「1年間保存」しなければなりません。

チェックを実施しなかった場合の直接的な罰則はありません。ただし、酒気帯び運転をしていた場合、道路交通法違反となります。この場合は運転者だけでなく使用者（安全運転管理者、そのほか自動車を直接管理する者等を含む）に3年以下の懲役または50万円以下の罰金が課されます。さらに違反に使用された自動車は6か月以内の範囲で使用できなくなることもあります。

のことから、10月からはセンターの車のカギを「持ち出す前、返す前」に必ずチェックを行いますのでご協力お願いいたします。

## □ 安全就業の取り組み！

この時期極めて多い事故が、熱中症と蜂刺されによる傷害事故になります。

当センター会員も、既に蜂刺されによる事故が2件発生し病院で治療を受けました。一般的に危険な時期は、7月～10月頃であると言われており、これから季節当分の間は注意が必要です。また、同時期に多いのが熱中症になります。

今年も新型コロナウイルスへの感染拡大の防止に十分留意しつつ、熱中症対策を行うよう注意しましょう。

## 【蜂刺されによる労働災害防止対策】

- 1 作業前に作業場所の蜂の生息状況を確認する。
- 2 巣が確認された場合は振動等の刺激を与えないようにし、除去等を行うまでは巣の近くでの作業は避けること。
- 3 作業中に蜂が近づいてきた場合には、速やかに遠ざかること。
- 4 蜂を刺激しない服装等で作業すること（スズメバチの場合、黒地の着衣等や香水、化粧品等で匂いのするものを避ける。）
- 5 蜂が毎年発生する場所で作業を行うときは、顔面を保護する防護網及び防護手袋等を着用すること。特に、蜂アレルギーのある者は必ず着用すること。
- 6 蜂の殺虫剤スプレーを携行すること。
- 7 蜂に刺されたときの救急措置を周知すること。

## 【熱中症予防対策】

熱中症とは、体温を平熱に保つために汗をかき、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）の減少や、血液の流れが滞るなどして体温が上昇して重要な臓器が高温にさらされたりすることにより発症する障害の総称です。

熱中症は生命にかかわりますが、一人ひとりが熱中症について知識を持ち、行動することで、防ぐことができます。

自分の体調の変化に気をつけるとともに、周囲（特に高齢者、子ども、持病のある方、障害者等は注意が必要）に気を配り、呼びかけあって、みんなで熱中症にならないようにしましょう。

### 熱中症の症状

次のような症状があったら熱中症を疑いましょう。

めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、気分が悪くなる、頭痛、吐き気、体がだるい、体がぐったりする、意識障害、けいれん、体が熱いなどの症状

熱中症が疑わいたら

### 【涼しい場所へ】

・冷房が効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難する。

### 【体を冷やす】

・衣服をゆるめで、首の周り、脇の下、足の付け根などを冷やす。

### 【水分補給】

・水分、塩分、経口補水液などを補給する。

水分・塩分の補給をしても症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう。

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

発 行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131 / 緊急連絡先 080-6011-5131

ホームページURL <http://sjc-kuroishi.jp/>